

認定看護師への道



皮膚・排泄ケア認定看護師

2009年取得

6階西病棟 鈴木由佳さん

認定看護師を目指そうと思ったきっかけ

担当していた終末期の患者さんに褥瘡が発生してしまった経験がきっかけです。褥瘡の処置を行う時に苦痛を訴えていた患者さんに、何とかこの褥瘡は防ぐことができなかつたのかと思いました。また、同じ頃、ストーマ造設が必要となり涙していた患者さんが皮膚・排泄ケア認定看護師の介入により、これからの生活に自信を持ち、笑顔で退院したのを目の当りにし、自分自身も皮膚・排泄ケア認定看護師となって知識・技術を身につけ、患者さんを支援していきたいと考えました

認定看護師として活動していること

消化器外科・泌尿器科の病棟に所属しながら、病棟でのストーマケアや褥瘡予防ケアの実践、週1回は認定活動日として、院内の褥瘡患者やストーマ外来を受診する患者さんのケアも行っています

認定看護師として大切にしていること

患者さん・家族がストーマケアを習得し退院できたとき、ストーマ外来に笑顔できてくれるときに嬉しさとやりがいを感じています。また、褥瘡リスクの高い患者さんに病棟スタッフと一緒に予防ケアを行い、褥瘡を作らずに退院できた、また元気になれた時は達成感を感じます

認定看護師として大切にしていることは、患者さんがストーマ造設となっても、「その人らしく生活できるよう支援すること」

また褥瘡は患者さんの苦痛に更なる苦痛が加わるので、苦痛を一つでも減らせるように褥瘡は予防していくことです

今後の活動・目標としていることは、6階西病棟及びストーマ造設に多く関わる部署で、ストーマケアが円滑に行くための書類整備、スタッフの指導をしていきたいと思っています



家族や看護師との打合わせは丁寧に行います



不安なくストーマ装具交換ができるよう、一緒に行い確認していきます